

研究プロジェクト4 「立教中学校関係資料研究」

舟橋正真

本年五月より、研究プロジェクト4を引継ぎ、さらなる研究推進に向けて努めている。本年度は、主として前年度より開始した「立教中学校教務日誌」（以下、「教務日誌」）の輪番による読み合わせを継続し、種々議論を重ねた。

前年度の第二一回研究会では、「教務日誌」一九四五年八月一五日前後の検討を行っており、本年度は、それ以降の一九四六年度から一九四八年度（一九四六年四月～一九四九年三月）までを検討対象とした。ここでは、「教務日誌」だけでなく、「立教中学校関係資料」も活用しながら、敗戦後から新制発足期の立教中学校の動向についての検討を試みた。その成果の一部は、拙稿「立教中学校の新学制への移行過程―「教務日誌」を手がかりに―」と題し、本号に掲載した。

また、本年度は研究員による個人報告も実施した。第二二回研究会では、安達宏昭研究員が、前年度の研究成果として、「通年勤労働員態勢下の立教中学校―動員をめぐる諸問題と学徒隊を中心に―」を報告し、その成果

の一部（前半部）を本号に掲載した（後半部は次号掲載予定）。第二五回研究会は、筆者による研究報告（「新制立教中学校発足の再検討」）を行った。

なお、本年度開催の研究会は以下の通りである。

第二二回研究会（七月二五日）

「教務日誌」一九四六年度～一九四七年度分

第二三回研究会（九月二六日）

個人研究報告

第二四回研究会（二月一四日）

「教務日誌」一九四八年度分

第二五回研究会（二月三〇日）

個人研究報告

このほか研究プロジェクト4では、立教池袋中高史料室に所蔵されている新制立教中学校資料群の整理・目録化に加え、元教諭関係文書の所蔵状況の把握に努めた。また、池袋中高未所蔵資料の調査として、①立教小学校所蔵資料の調査、②文部科学省と東京都に対する情報公開請求、③海城中学・高等学校所蔵資料の調査等を行い、現在も継続して進めている。

次年度も本年度と同様に研究プロジェクト4を推進し、立教学院一五〇年史の編纂に向けて、調査・研究に努めていきたい。